



デジタル基盤整備についての 前橋市の取組

前橋市 副市長
大野 誠司



め
ぶ
く。

Where good things grow.

その芽は、まだ小さい。

風に吹かれ、雨を待ち、太陽の熱さにその身をあずける。

そしていつか、枝をつけ、葉を繁らせ、

強く太い幹となる日を夢見ている。

人は芽だ。この地は芽だ。そしてつながりは芽だ。

いまは若い芽だけれど、未来の大樹を隠し持つ芽だ。

Where good things grow.

この地ではじまる、芽ぐみ。

ここから、よきものが伸びてゆく。

いくつもの芽が育ち、やがては大きな森をつくっていくだろう。

Where good things grow.

わたしたちは、この地の芽吹きのために、

未来に希望の森を見るために、

厳しくも優しい風になろう。

慈しみの雨になろう。

そして、なによりも熱い太陽になろう。

Where good things grow.

きっと、芽吹く。

前橋の大地の下にはたくさんの種が、そのときを待っている。





アジェンダ

- 交通デジタル基盤 **MaeMaaS**

- 共助と参画、信頼の基盤 めぶくID
めぶきを支える めぶくグラウンド(株)



前橋のICTまちづくりの基本思想

4

- ・ 個人にまつわるデータは、本人の手元へ
- ・ 誰に見せるか、見てもらいたいかな等の本人の意思を確実に

→ 本人であることを電子的に確実に認証
⇒ **マイナンバーカード活用**

2013年度**前橋ICTしるくプロジェクト**

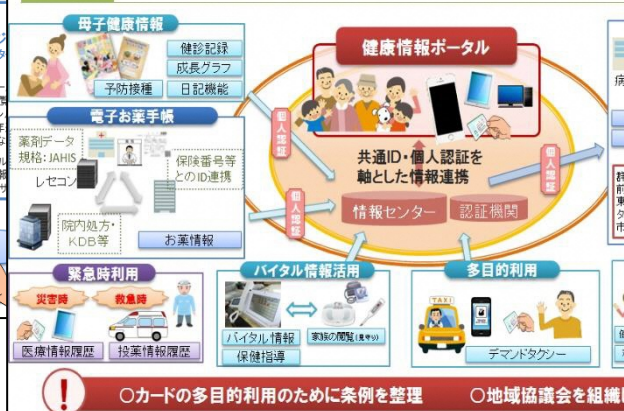
別紙3

**2014年度**

提案者 前橋市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、吉岡町、榛東村、前橋市医師会、前橋市歯科医師会、前橋市薬剤師会、前橋商工会議所、前橋工科大学、NPO法人首都機能バックアップ推進協議会

実施地域 前橋市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、吉岡町、榛東村

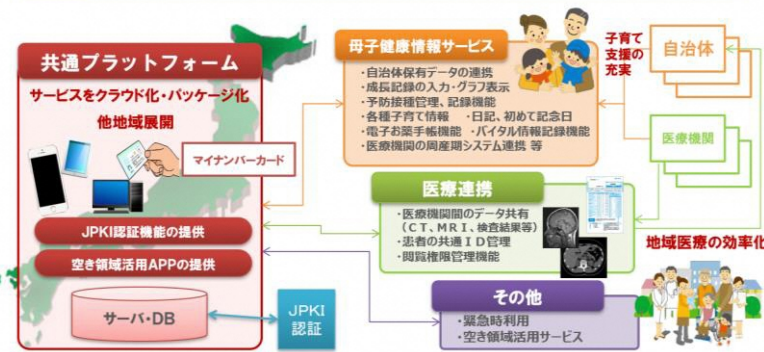
事業概要 地域プラットフォーム上にて「健康情報ポータル」を運用。健康情報を集約し、マイ証機能等により本人認証をした上で、市民や医療関係者等の参加者が情報を参

**2015年度****平成26年度補正予算 総務省「まち・ひと・しごと創生推進事業」****ICTしるくプロジェクト**

実施団体 一般社団法人ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構

実施地域 群馬県内主要自治体、県外複数自治体

事業概要 医療・健康を主テーマとして実施されてきた「ICTしるくプロジェクト」の成果に基づき、一般社団法人にてそのサービス・運用をクラウド化・パッケージ化し、群馬県内を始め、多くの自治体、医療機関が実導入できるような体制を構築すると共に、実利用のフィールドを広げる。





移動困難者支援 マイタク

6



移動困難者対策としてタクシーの運賃補助
利用時にマイナンバーカードを活用

夏のDigi田甲子園
実装部門 準優勝



平成28年1月

マイタク開始
紙利用券運用
(毎月約2万枚の紙券)

平成30年1月

マイナンバー
カードと併用
スタート

令和4年4月

マイナンバー
カード運用
一本化

利用者のマイナンバーカード取得率

92%超

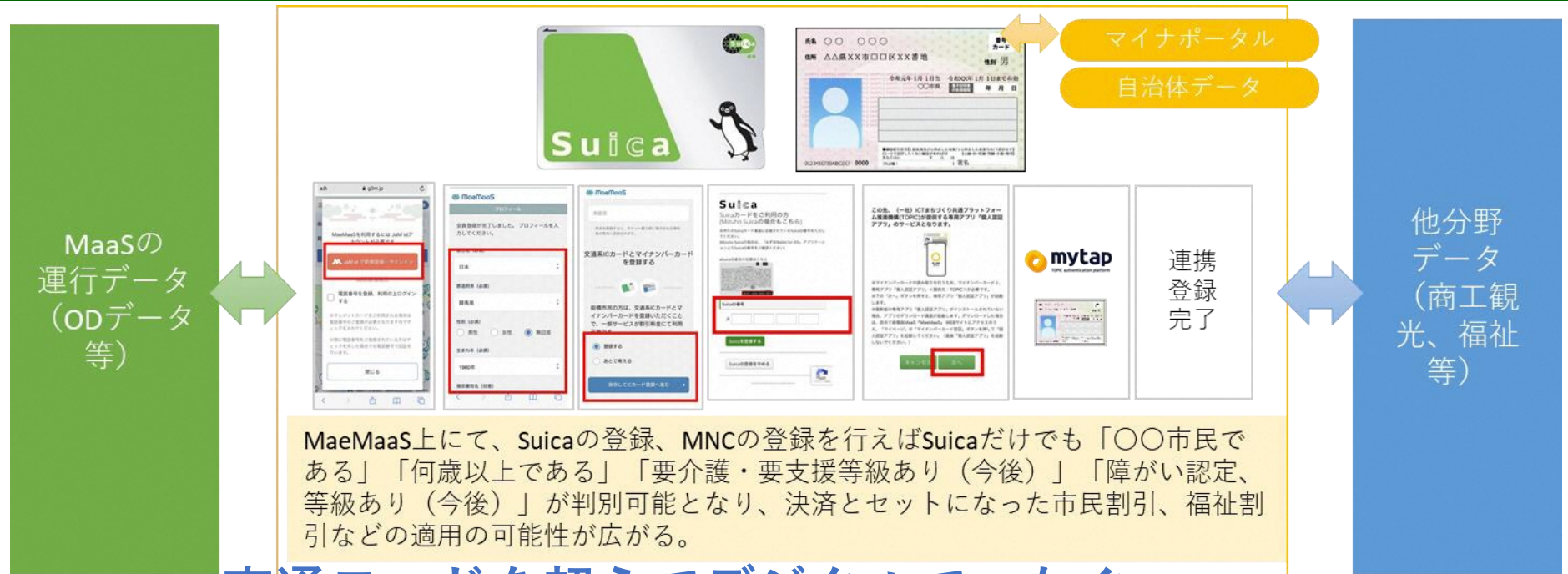
交通モードを超えた1つの融合サービス

～ どれかに乗る から **どれでも乗れる** 交通社会へ～

- ✓ 従来のバス・鉄道・タクシーなど
個々バラバラの交通サービスではなく、
スマホ1つでどれでも利用できる
定額パッケージ。
- ✓ 利便性に応じた**料金体系**を利用者が選ぶ。
- ✓ **マイナンバーカード**による個人認証の
仕組みを取り込むことで、行政・民間を
問わず**各種サービスとも連動**。
- ✓ コンソーシアムを形成し、**共同的な運営**
により、データ共有や利益分配できる仕
組みを構築。



持続可能な地域交通に向けたMaeMaaSの実装 8



交通モードを超えてデジタルでつなぐMaeMaaS



データ共有、利益分配 ⇒ データを活用する統合的な運用母体が必要

交通系IC×マイナンバーカードの認証連携

9

マイナンバーカード連携

Suicaとマイナンバーカードの個人属性を連携



○利用イメージ

①MaeMaaS上で交通系ICカードとMNCを登録・紐づけ

②フリーチケット購入時、属性に応じた割引（実証では前橋市民割引）

中心市街地乗り放題券

大人 ¥400 (税込) ¥200 (税込)

前橋市民割引料金設定あり
(マイナンバーカードの登録が必要です)

有効期限：1日間

前橋駅を中心としたバス路線(150円区間)が1日間乗り降り自由となるデジタルフリーパスです。前橋市限定で、マイナンバーカードを登録すると運賃割引が受けられます！

降車時にドライバーが視認



②デマンドバスではSuicaで割引決済を実施

端末にタッチ

Suica

MNCと紐づいた交通系ICカード

前橋市民を割引

車内に読み取り機

マイナンバーカード×交通系ICカード連携の目指したい姿 10

交通系ICカードとマイナンバーカードを連携し、交通系ICカード一枚で、高齢者・小児割引や福祉割引など市民サービスとしての様々な割引料金の決済が可能となる社会を目指す。

「特定地域の居住者向けサービス」

地域交通機関



市民割引
フリーパス・共通定期
乗継割引 など

小売



市民割引

地方自治体



公営施設利用時の市民
割引(美術館、博物館など)

地域交通機関



敬老パス
小児割引
福祉割引 など



マイナンバーカードに交通系ICカードが連携するメリット

- ①多くの方がお持ちの交通系ICカード（クレジットカードをお持ちでない学生等も利用可能）
- ②移動やお買いものなど様々なシーンで決済可能
- ③万が一交通系ICカードを紛失しても、再発行のうえ、再度マイナンバーカードとの連携が可能

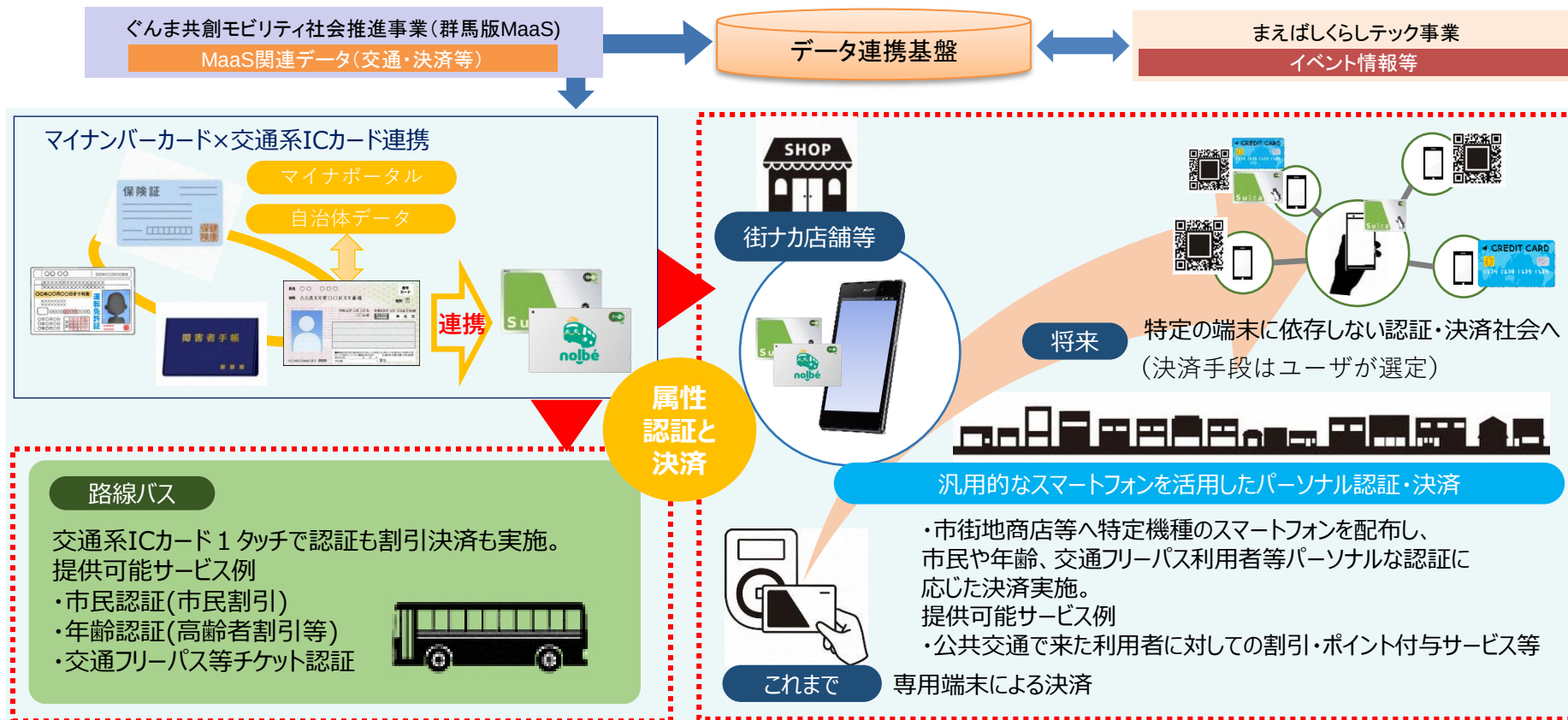
【マイナンバーカードをベースとした商業と交通の決済連携による地域活性化】

※デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)
マイナンバーカード利用横展開事例創出型 前橋市申請事業

実施地域	群馬県前橋市		
実施主体	群馬県前橋市	人口	約33万人
事業概要	マイナンバーカードと交通系ICカードの連携により、年齢情報や住所地等の属性情報の資格判定を交通系ICカード1枚で実施し、共通のクラウドシステム基盤を活用することにより、公共交通を利用した来客へのポイント付与や商店での割引、路線バス乗車時の交通系ICカードをワンタッチでの属性割引運賃適用等、移動手段である公共交通と移動先での決済を相互活性させるサービスを構築する。		

取組内容

マイナンバーカードと紐付けた交通系ICカード認証/決済により、パーソナライズされた公共交通の運賃と一体での商業サービスを実現する



アジェンダ

- 交通デジタル基盤 MaeMaaS
- 共助と参画、信頼の基盤 めぶくID
めぶきを支える めぶくグラウンド(株)



自己超越欲求
自己実現欲求
承認欲求
社会的欲求
安全の欲求
生理的欲求

Digital Green City 前橋

マイナンバーカードの信頼で支える共助型未来都市

マイナンバーカードをトラストアンカーとする“めぶくID”に実装した
ダイナミックオプトイン機能をフルに活用。利便性を高め恩恵の実感を加速させる。



マイナンバーカードとめぶくIDの組み合わせで実現する安心で柔軟なデータ連携(DFFT)

※ダイナミックオプトイン：いつでもどこでも安心に自分の意思で自身のデータを提供・連携解除すること

これまでの暮らし

これからの暮らし

マイナカード



めぶくID

- (1) 自分でコントロールできる、匿名で情報提供できる安心感によって
- (2) 共同体利益のための（健康などの機微な）情報提供が進む
- (3) 自分が誰だか分かって欲しくない悩み相談や、意見表明などが出来る。
同時に受ける側も確実に人が後ろに実在する相談や意見であるとの安心感を持てる。

ダイナミック オプトイン (DFFT)

Data Free Flow with Trust

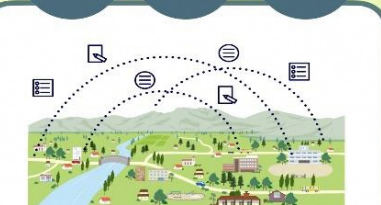


マイナカードで
信頼を裏打ち
めぶくIDで匿名化



個人に個別最適化された
めぶくID/オプトインに基づくデータ

標準化 共通化 統一化



オプトインに基づくビッグデータ



一人ひとりの
Well-being向上

エリア課題の可視化



他都市連携

R5年度
事業

スタートアップ
プチ創業

学生

前橋e-市民

新しい考えや
スキルを持つ人

DAO

自助共助型障がい者サポート

めぶくEYE



参加型会議プラットフォーム

めぶくファーム



若者支援 子育て支援
教育強化 福祉支援 他

共助のまちづくり
(めぶくwith Trust)事業

Democracy 2.0 with Trust

R4年度
事業



めぶくID及びデータ連携基盤構築し、
それらを提供する「官民連携会社」を実装



アレルギー情報に基づく安全な食事の提供、地域での見守り・ケア
や充実した子育て環境、新しい学び・つながりの場等を、地域の
リソースやデータをシェアしながら、共助の精神に基づいて受益



データ利用により個別最適化
(パーソナライズ)したサービス
をレコメンド可能に

利用者のニーズに応じたダッシュボード（グッドグロウまえばし） 14

めぶくIDにより本人性・真正性が担保された情報を、本人同意に基づき活用することで、

利用者のニーズに合わせて一人ひとりに最適化された情報を提供し、各種サービスをレコメンド

属性	20代女性	30代女性	60代男性
属性	20代女性 - 夫と二人暮らし - 妊娠中のため産休を取得	30代女性 夫、4歳と7歳の子供と四人暮らし - 共働き	60代男性 - 妻と二人暮らし
関心・趣向	- 妊娠中であるため安静に過ごしている - 夫が平日は忙しいため、通院等は一人で行くことが多い - 子育ての悩みを抱えながらも、妊婦仲間が増えずに困っている	- 仕事と子育てで日々の生活に追われる 7歳の子供がアレルギーを持っているため食事には気を使っている 4歳の子供が病気がちであり、職場をお休みすることが多い	- 会社員としての生活も一段落し、第二の人生を考えている - 散歩やジム通い等を日常的に行いながら、健康に過ごすように気を使っている - 休日は読書をする時間が多い
ニーズ	- 便利に公共交通サービスを利用したい - 悩みを共有できる仲間が欲しい	- 学校や保育園の情報を簡単に入手したい - いざというときに預け先が欲しい	- 空いた時間で地域イベント等に参加したい - 困っている人がいれば支援したい

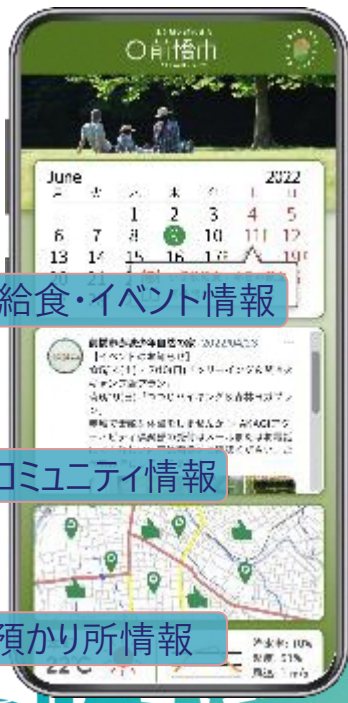
ダッシュボードイメージ



MaeMaaS運行情報

健診等のスケジュール

子育て教室等のイベント情報



子供の給食・イベント情報

子育てコミュニティ情報

一時預かり所情報



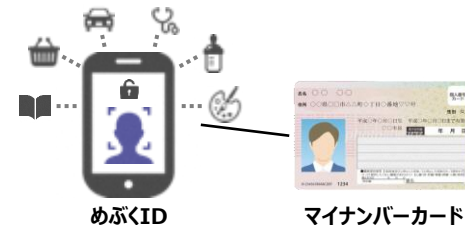
散歩コースと
お店・スポット情報

イベント情報

MNC×めぶくID の 基本コンセプト

マイナンバーカードで信頼を裏打ち、めぶくIDで匿名化

- 本人性・真正性、セキュリティ・プライバシーを確保し、パーソナライズされたサービスを安心安全に提供するためにスマートフォン上で実装されるデジタルID
(マイナンバーカードをトラストアンカーとして利用)



MNC×めぶくID の 特徴

本人性

デジタル上で
法的根拠に基づき
**本人が本人であること
を示す**
(身分証明書の役割)

真正性

**意思表示が本人の意思
であることを示す**
(公正証書の役割)

自己主権

ユーザーが自身の
意思に基づいて
**主体的に提供する
データの選択/解除ができる**
(ダイナミックオプトイン)

利便性

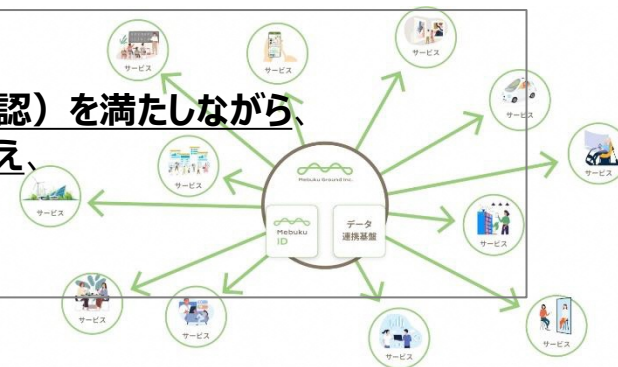
持ち運びやすく使いやすい、
多様なプラットフォームで機能
する**汎用性と携帯性
を有する**
(匿名で利用ができる)

匿名性

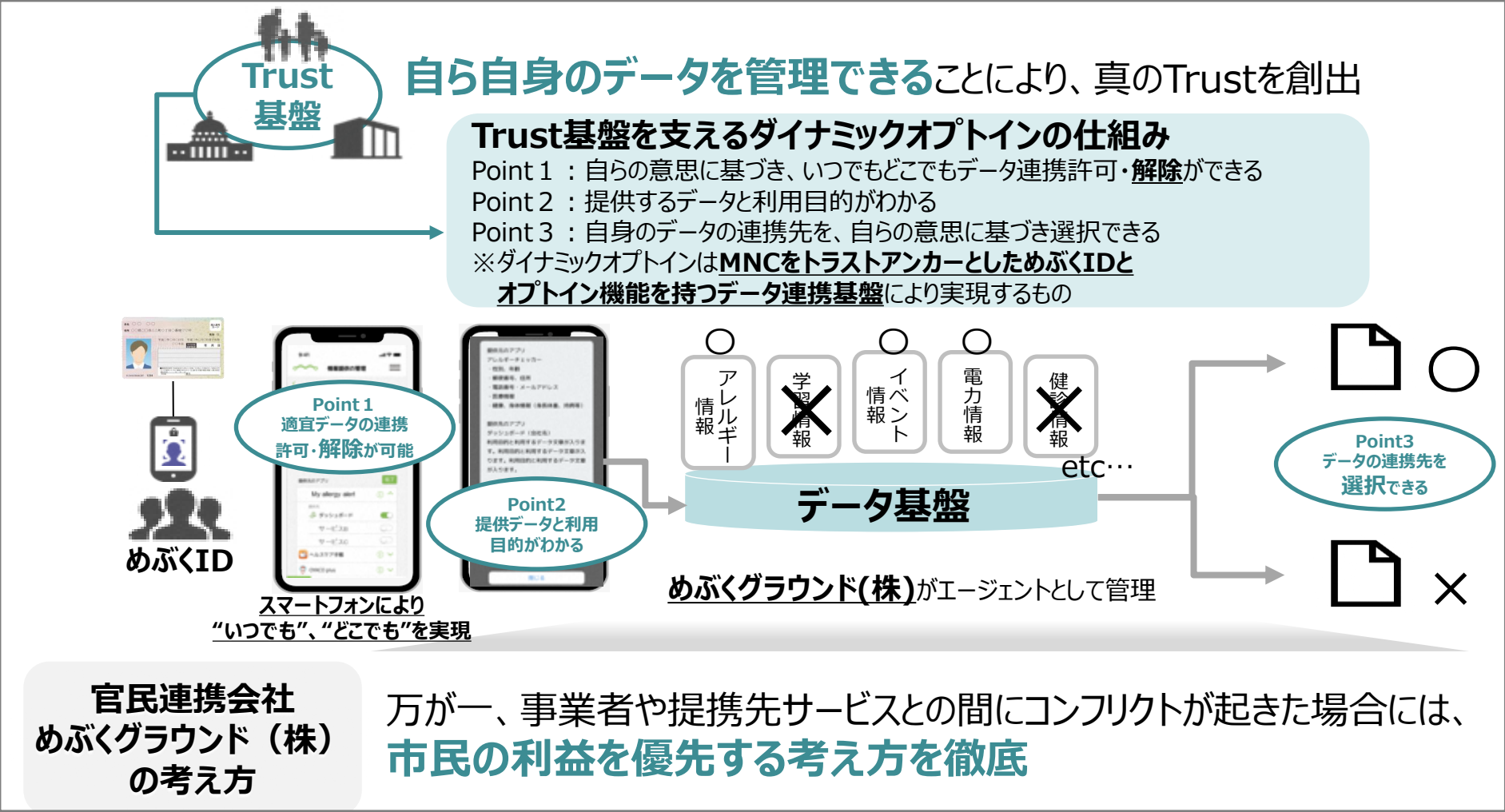
実名としての本人性、匿名としての本人性を兼ねそろえているため
自分が誰だか分って欲しくない悩み相談や、意見表明などが出来る。同時に受ける側も確実に人が後ろに実在する相談や
意見であるとの安心感を持てる

MNC×めぶくID の 強み

- めぶくIDは以下の強みを持った次世代のデジタルIDである
 - ✓ デジタルIDにおける**本人確認要件（本人性確認・真正性確認）を満たしながら、**
 - ✓ **自己主権型データ管理機能（ダイナミックオプトイン）を備え、**
 - ✓ **サービス上では匿名で利用ができ、**
 - ✓ **自治体から民間サービスまで幅広く利用**することができる



- めぶくIDとオプトイン機能を持つデータ連携基盤があることで、自己主権の考え方にに基づき、自身が保持するデータをいつでもどこでも安心して自身の意思に基づいて連携許可・解除することが可能（ダイナミックオプトイン）
- また、サービス事業者もマイナンバーカードをトラストアンカーに本人確認・認証ができるため、本人を特定した状態でパーソナライズされたサービスの提供が可能



- 2022年10月6日、官民連携会社 めぶくグラウンド（株）を設立
- 誰一人取り残されことなくWell-Beingを享受することができる社会の実現 と人々が自らの意志で共助型未来都市であるデジタルグリーンシティを創生することをMission/Visionに掲げ、ダイナミックオプトインの要となるMNCをトラストアンカーにした**めぶくID・データ連携基盤の運用を担う**

地域企業などと共に新たな価値・サービス創出

- デジタル田園都市国家構想が標榜するビジョン同様に地域企業やスタートアップと共に新たな価値やサービスを創出していくことを志向
- 設立後間もないが、50を超える企業がめぶくグラウンドに賛同してくださり、事業参画/協賛/出資など様々な形での連携が見込まれている

全国的先駆けとなるモデル創出と展開

- 上記創出した価値やサービスを軸に自走していく考えであるため、データ連携基盤そのもので儲けていくようなモデルではない
- 新たなサービス/Trust基盤/運営組織と三拍子そろった当該モデルを前橋だけではなく全国に広げていく
（自治体は既に構築された基盤と運用体制を活用できるので早期・安価かつ安全に利用できる）
- 既に、連携する都市・自治体も具体化しており、今後もデジタル＆ファイナンス未来型政策協議会などを通じて展開を図る

市民の利益を優先するポリシーとガバナンス

- 全国に展開するためにはデジタルとしてのセキュリティはもちろん運用体制なども欠かせない
- めぶくグラウンド（株）は、組織内にデータガバナンス委員会を設立し、個人の権利利益保護に努める



プライバシーポリシー

めぶくグラウンド株式会社（以下、「当社」といいます。）は、個人情報保護の重要性を強く認識し、以下の方針に基づき、個人情報保護法を始めとする関係法令及び関連ガイドラインを遵守して、個人の権利利益の保護に努めます。

1. 当社について

めぶくグラウンド株式会社
住所：群馬県前橋市表町2丁目30番8号A Q E R U 6 F
代表者：代表取締役社長 曾我 孝之

2. データガバナンス委員会

当社は、データ提供者の意思と利益を守る「データガバナンス委員会」を設置し、個人情報の保護、そして個人の権利利益の保護に努めてまいります。

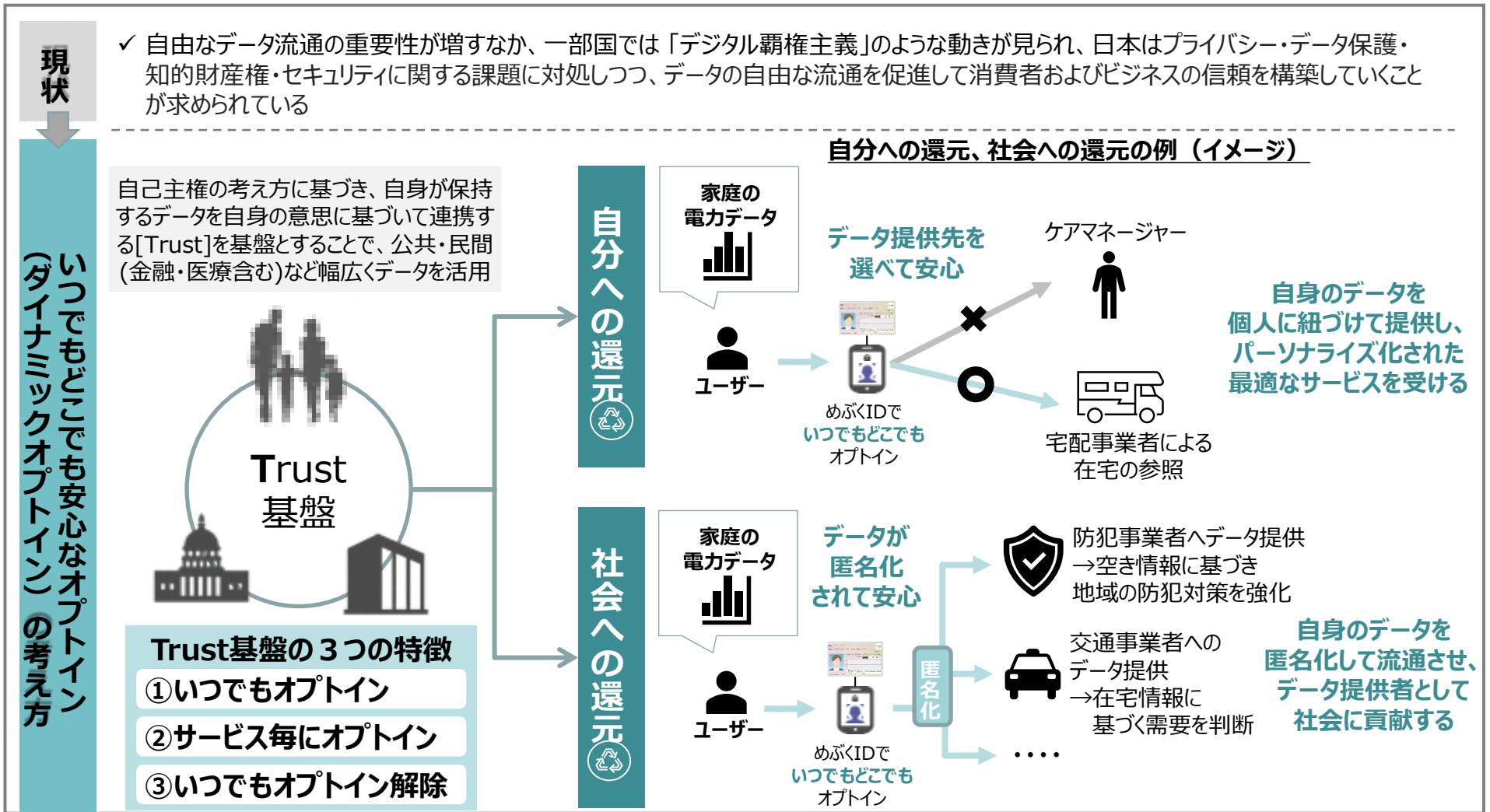
3. 適正取得

当社は、偽りその他不正の手段により個人情報を取得いたしません。

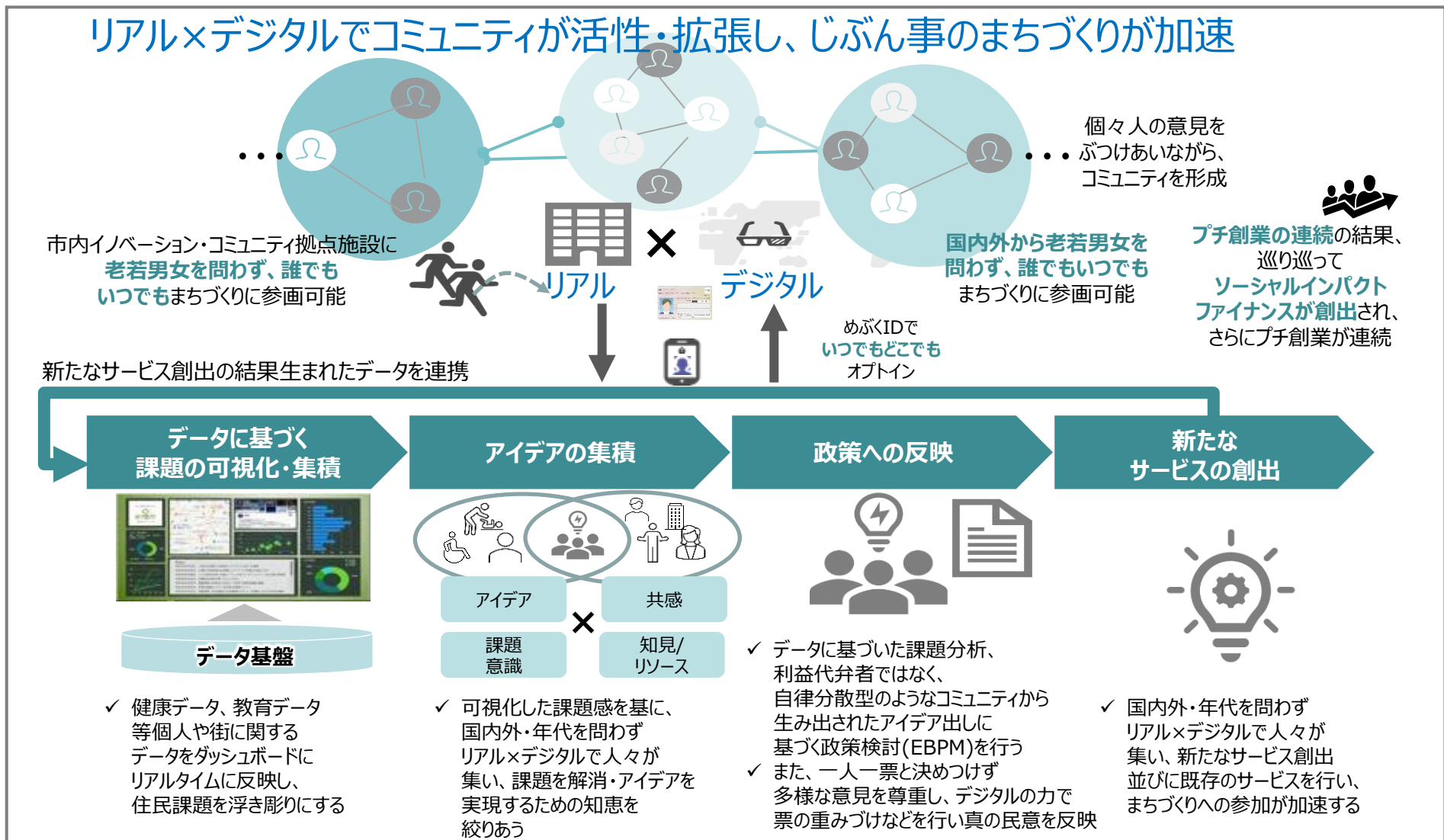
4. 利用目的

自身の意思に基づいてまちづくりに寄与する情報・データを流通させる基盤と仕組みの強化

- ・ 自らが蓄積したデータを自身に還元する「自分への還元」
- ・ データを社会利用・可視化・分析に役立てることによる「社会への還元」



- いつでも・どこからでも市内外の誰でも（e-市民）、前橋のまちづくりに参画できる環境
- 実名としての本人性、匿名としての本人性の担保により、心理的安全性の確保につながり、リアル×デジタルで誰もが自由闊達にじぶん事としてまちづくりに意見を反映



めぶく EYE

視覚障がい者自立歩行
サポートシステム



めぶくEYEは、スマートフォンのカメラとAI技術により、
歩行の妨げとなる道路状況を検出。



カフェがあります



信号が青になりました



植え込みがあります



横断歩道があります



人が歩いてきます

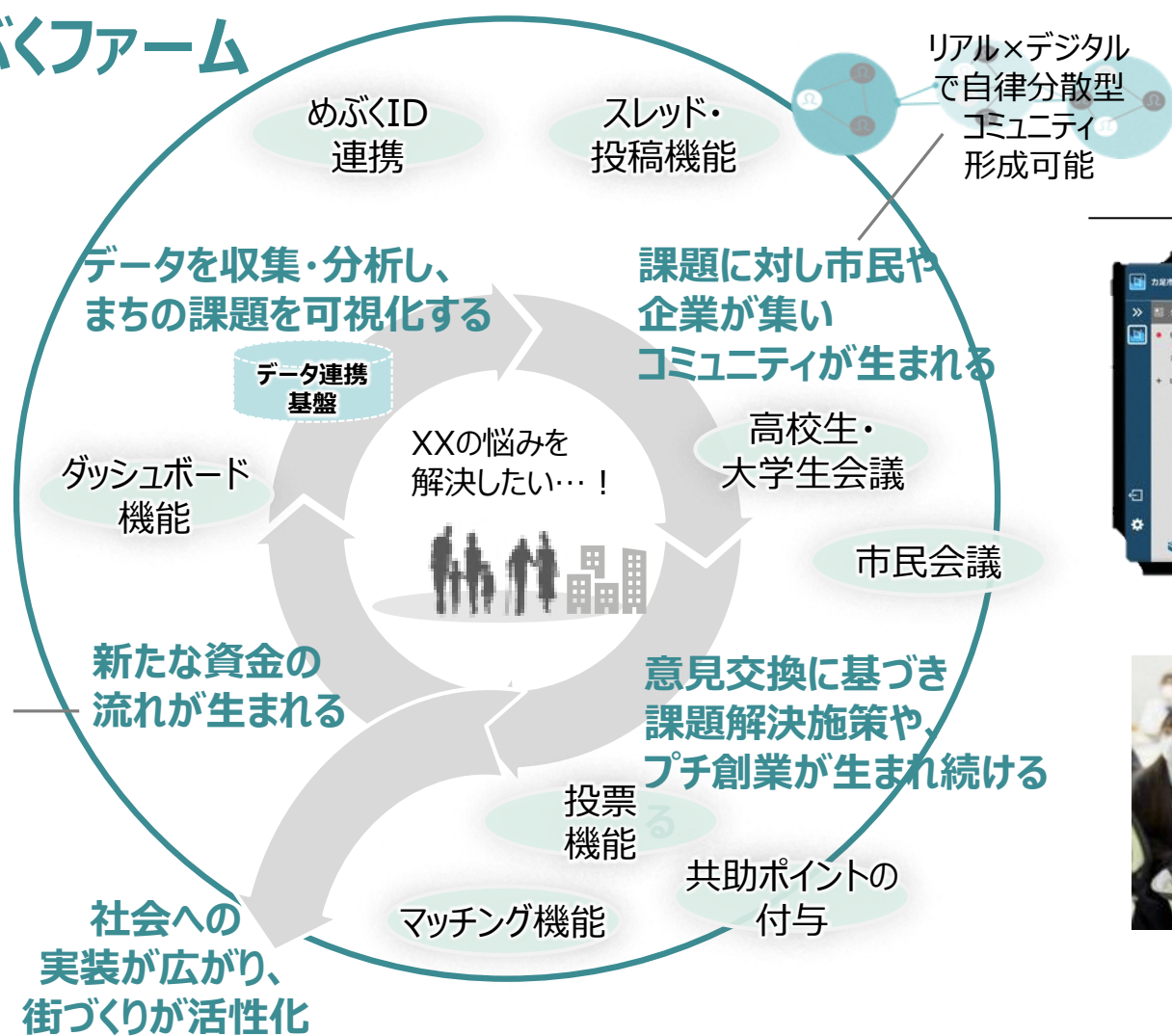
車止めがあります



自転車が止めてあります

だれでも自由にまちづくりに参画できる、自律分散型コミュニティを形成

めぶくファーム



会議イメージ (リアル・オンライン)

